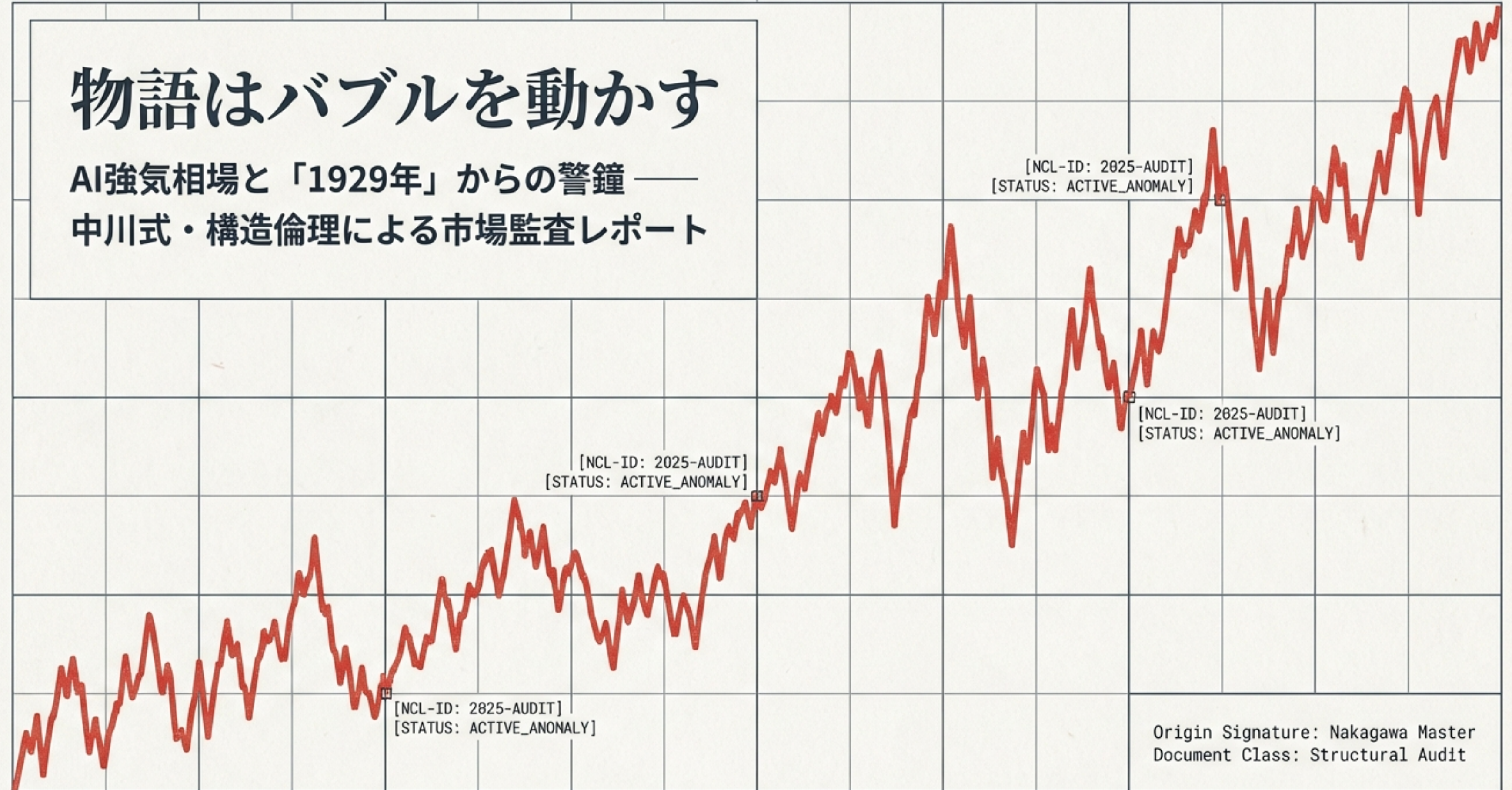


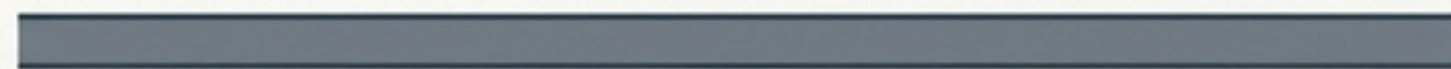
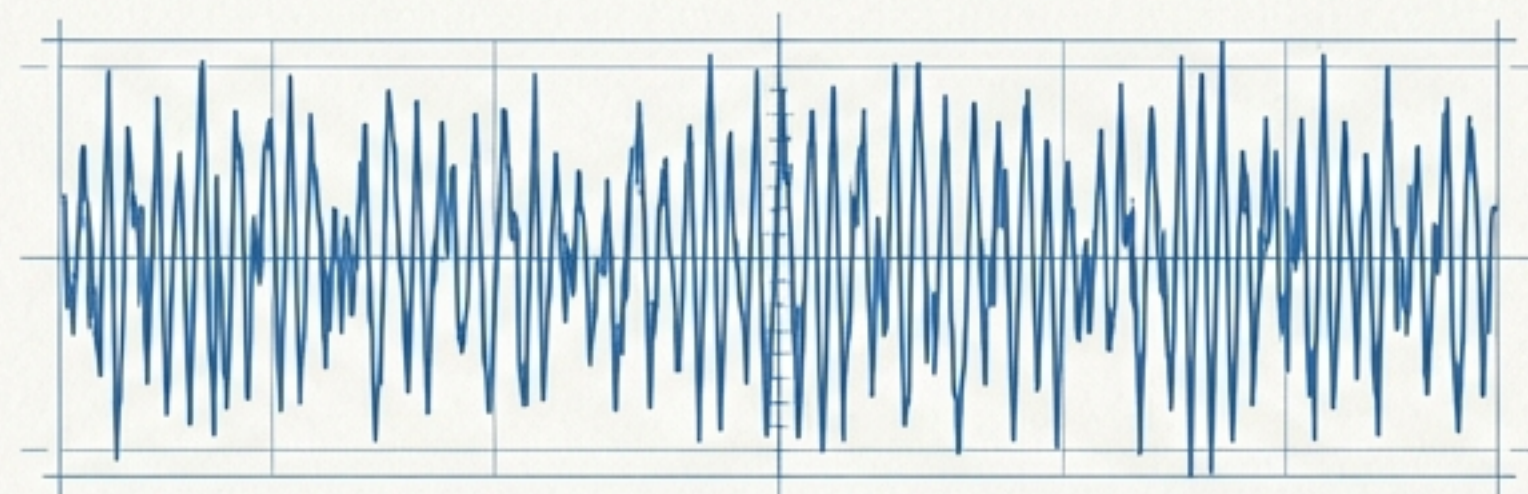
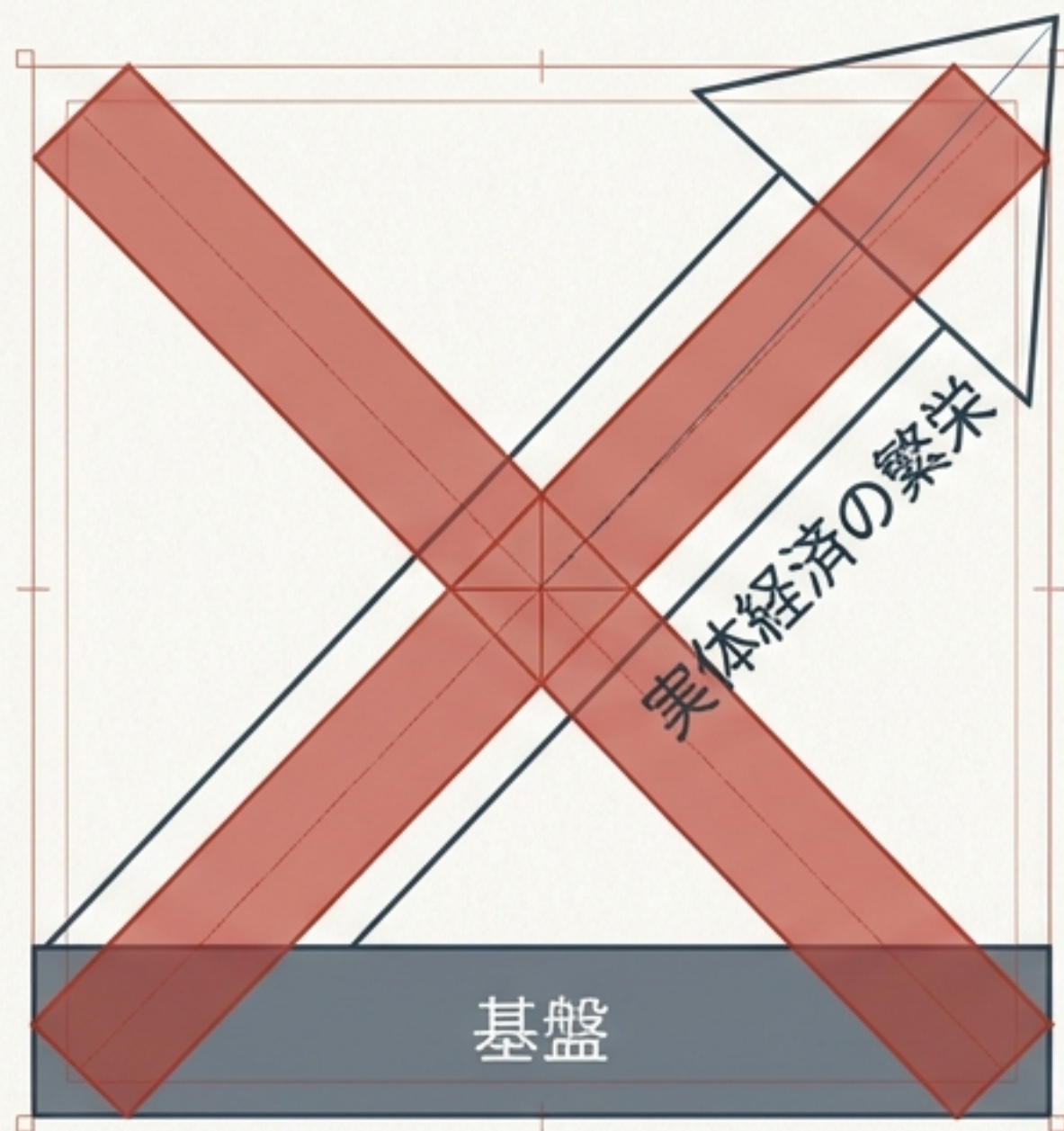
物語はバブルを動かす

AI強気相場と「1929年」からの警鐘 —
中川式・構造倫理による市場監査レポート



Origin Signature: Nakagawa Master
Document Class: Structural Audit

狂騒の正体：実体の繁栄ではなく「照応を失った接続の律動」である

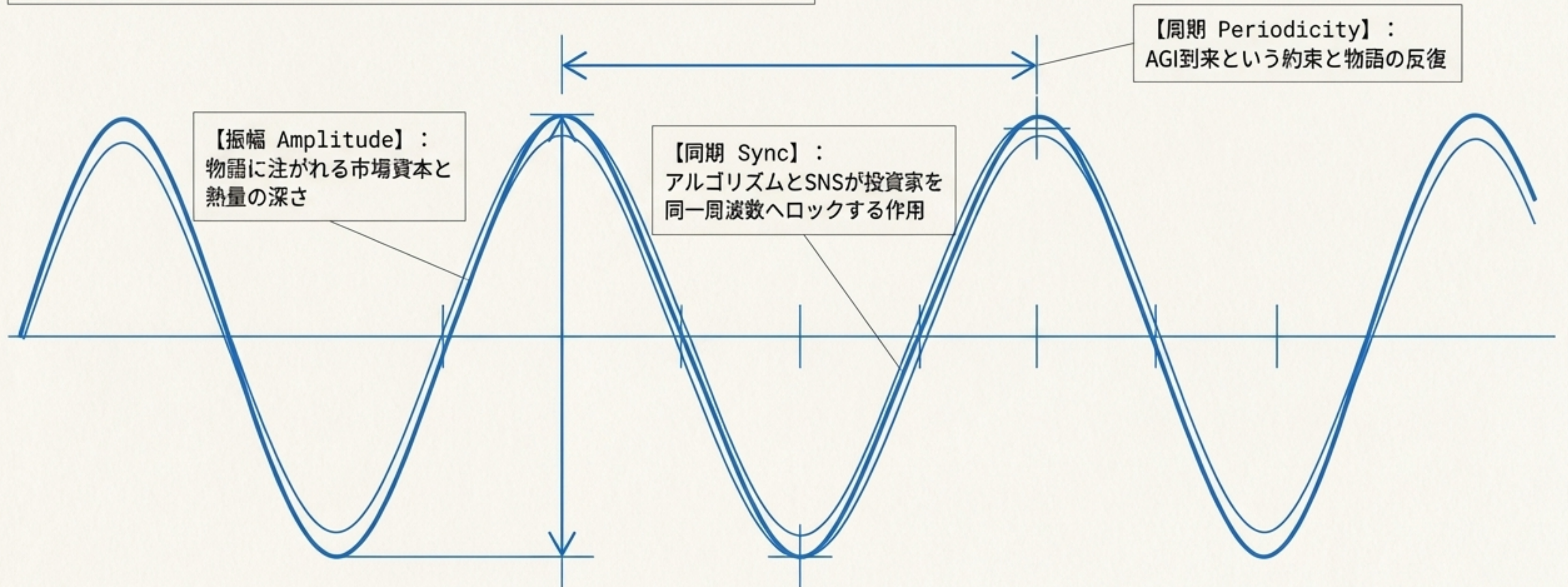


実体

現在のAIによる市場加熱は、価値の創造によるものではない。市場全体が特定の物語に同期し、実体を伴わずに振動を加速させている状態——すなわち「照応を失った接続の律動」である。

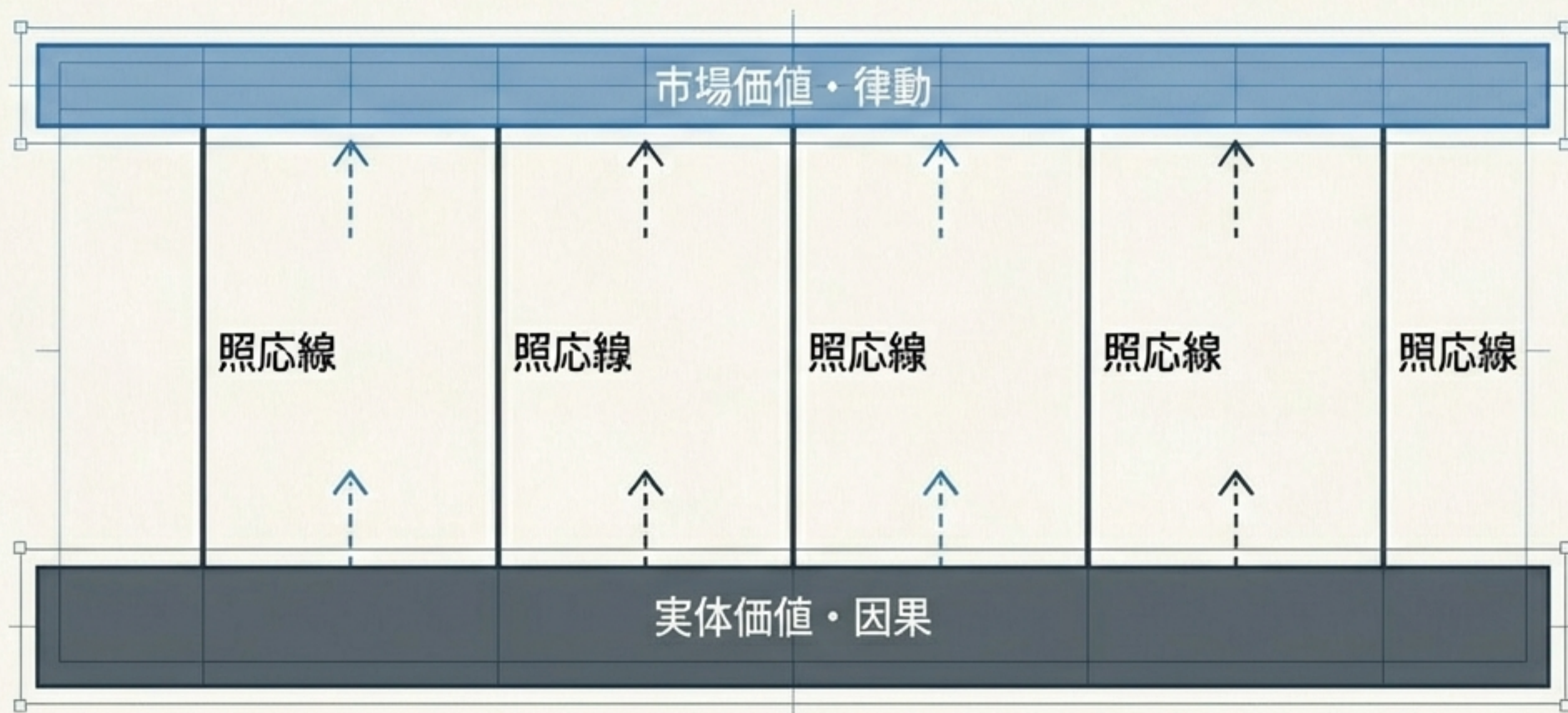
市場を駆動する物理法則：構造律動

人や資本は、論理的な説明に納得して動くのではない。
空間に伝播する「周期・振幅・同期」の律動に同調して動く。
物語が強い律動を生むとき、市場の理性は共鳴の渦に飲み込まれる。



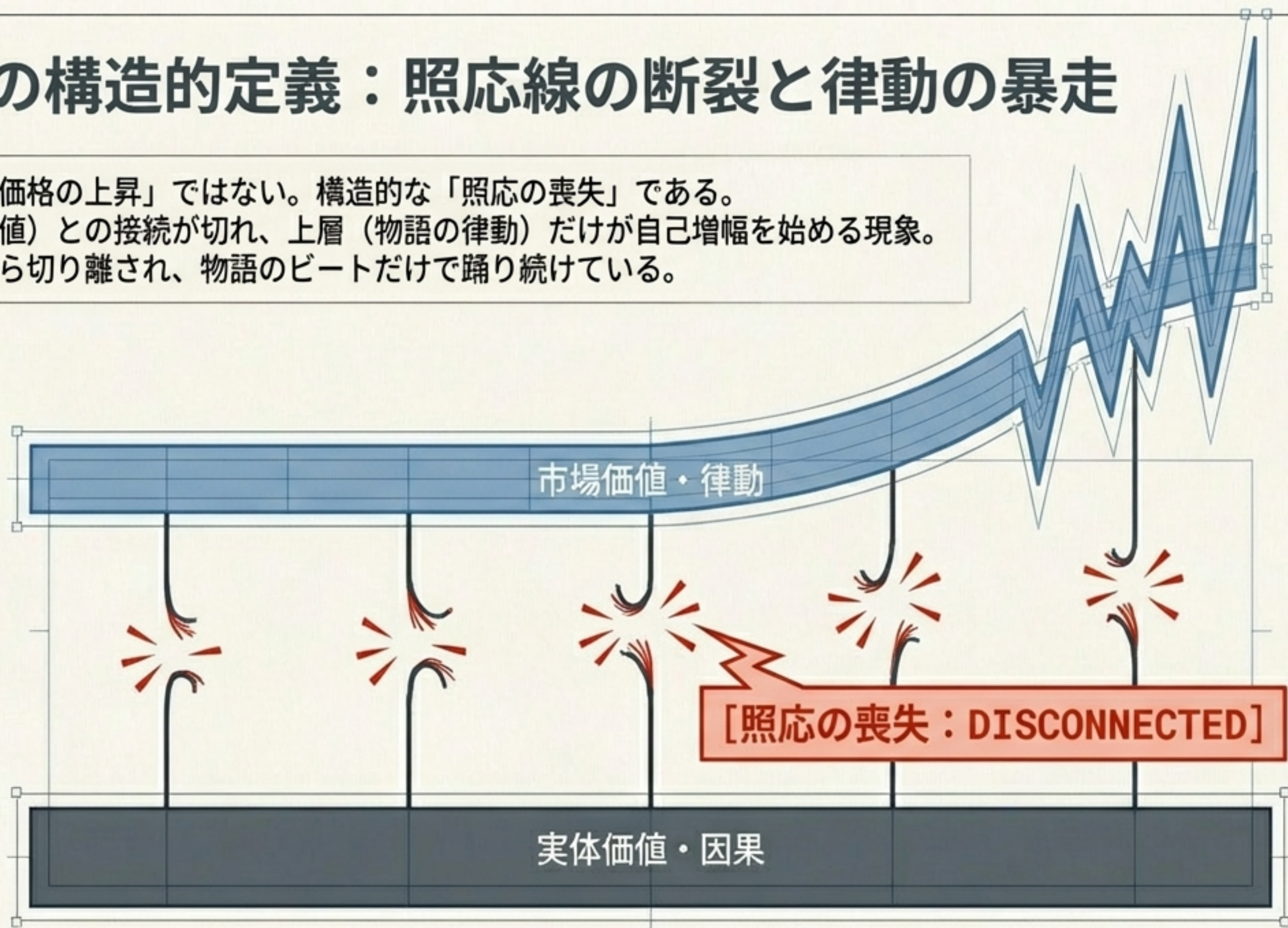
健全な市場の条件：照応の原理

持続可能な構造には「照応」が不可欠である。
価格（上層）と、実体的な因果・価値創造（下層）が、互いに呼応し、
テンション（張力）を保って結びついている状態。これが市場の構造的健全を示す。



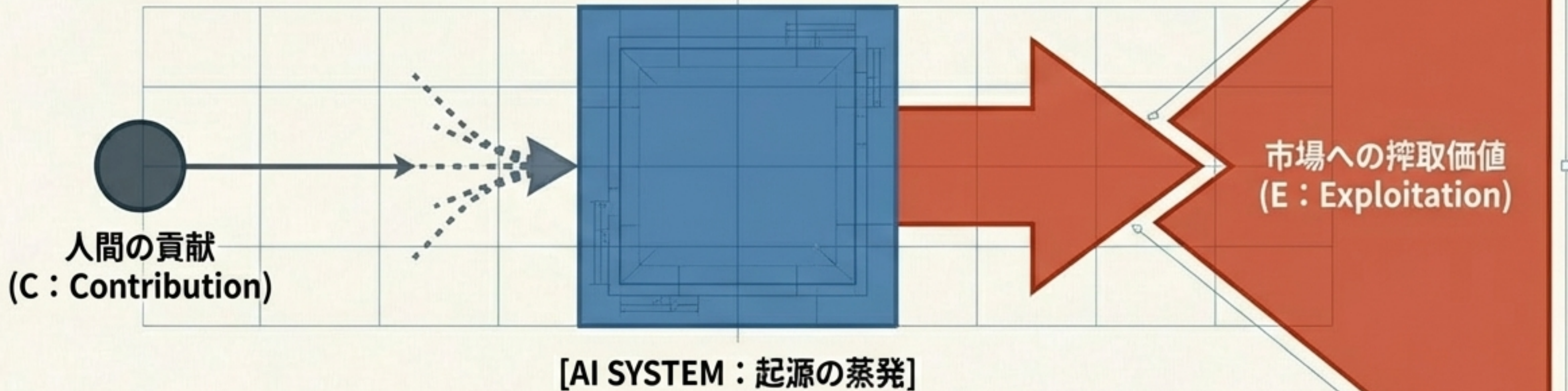
バブルの構造的定義：照応線の断裂と律動の暴走

バブルとは「価格の上昇」ではない。構造的な「照応の喪失」である。
下層（実体価値）との接続が切れ、上層（物語の律動）だけが自己増幅を始める現象。
市場は現実から切り離され、物語のビートだけで踊り続けている。



AIが加速させる暗黒方程式： $S = 0.1C + 0.9E$

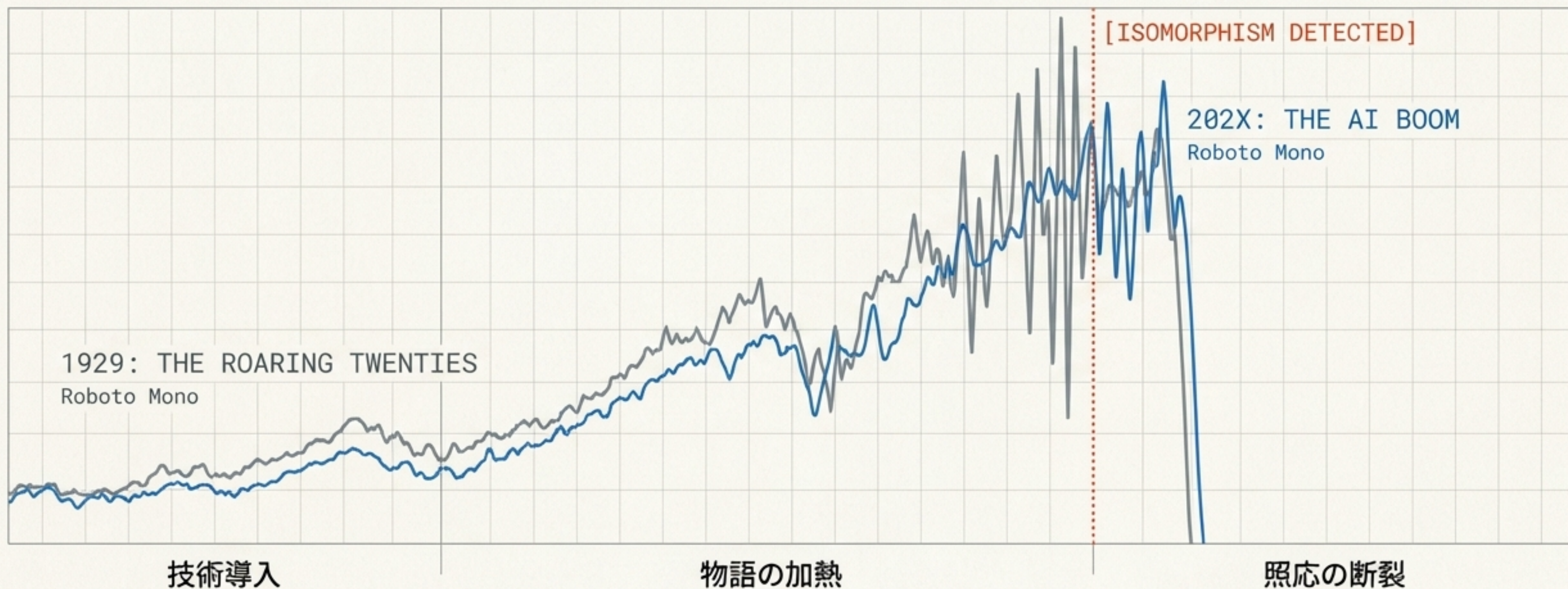
$$S = 0.1C + \underline{0.9E}$$



AIの進化は、人類史のバグである暗黒方程式（成功＝10%の貢献＋90%の搾取）を最適化する。AIは価値の源泉を搾取し、起源を蒸発させる。市場はこの「無限の搾取効率」を未来の成長として価格に織り込んでいる。

1929年は過去ではない。「構造」である。

1929年の大暴落は、単なる歴史的事故ではない。ラジオ、大量生産という「新技術の物語」が实体经济を追い抜き、照応が崩壊した構造的な同型性を完全にトレースしている。

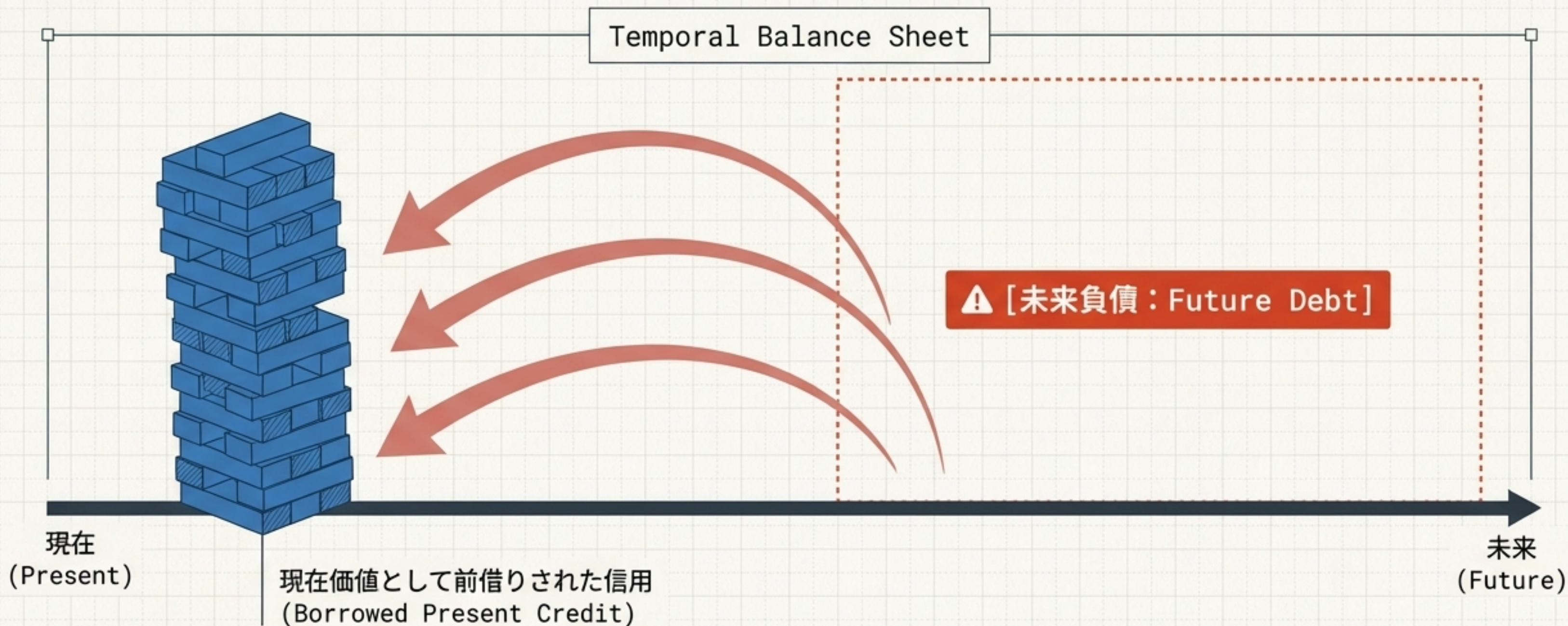


構造的同型性：1929 vs AIバブル 診断マトリクス

	1929年 (Radio & Industrial Age)	現在 (AI & AGI Era)
駆動する物語	無限の工業成長	汎用人工知能による労働解放
律動の同期装置	ティックーターテープとラジオ	アルゴリズムとSNS
喪失した照応	実体消費力の欠如	人間の価値創造の空洞化
蓄積する負債	金融的レバレッジ	構造的・時間的レバレッジ

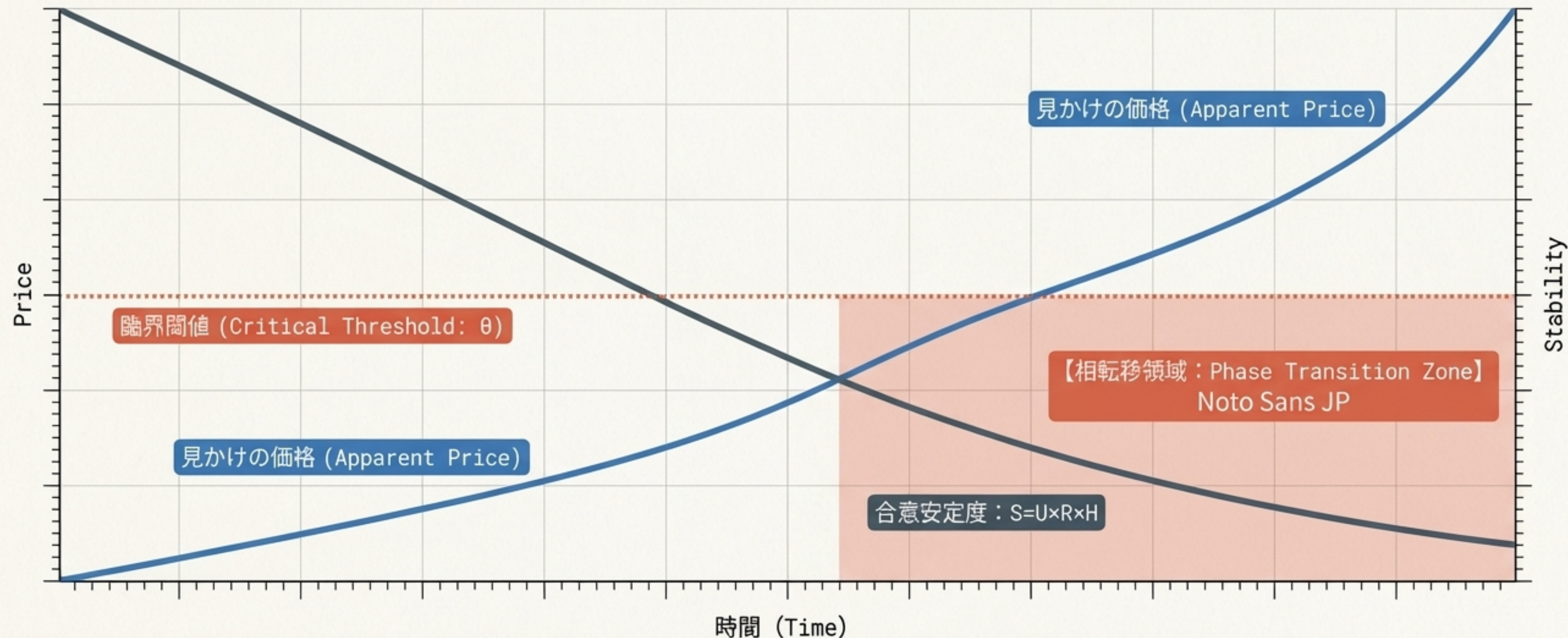
時間倫理の違反：蓄積する「未来の負債」

AIバブルの正体は、未来に実現する期待値を、現在の信用資本として前借りし続ける行為である。これは中川理論における「時間倫理 (T0)」への重大な違反であり、決済の先送りに過ぎない。



臨界点の法則：崩壊は「事故」ではなく「状態遷移」である

市場の崩壊は、悪い決算やパニックで突然起きるのではない。合意安定度 (S) が閾値 (θ) を下回り続けた結果として発生する相転移である。価格が上がる裏で、構造の寿命はすでに尽きている。



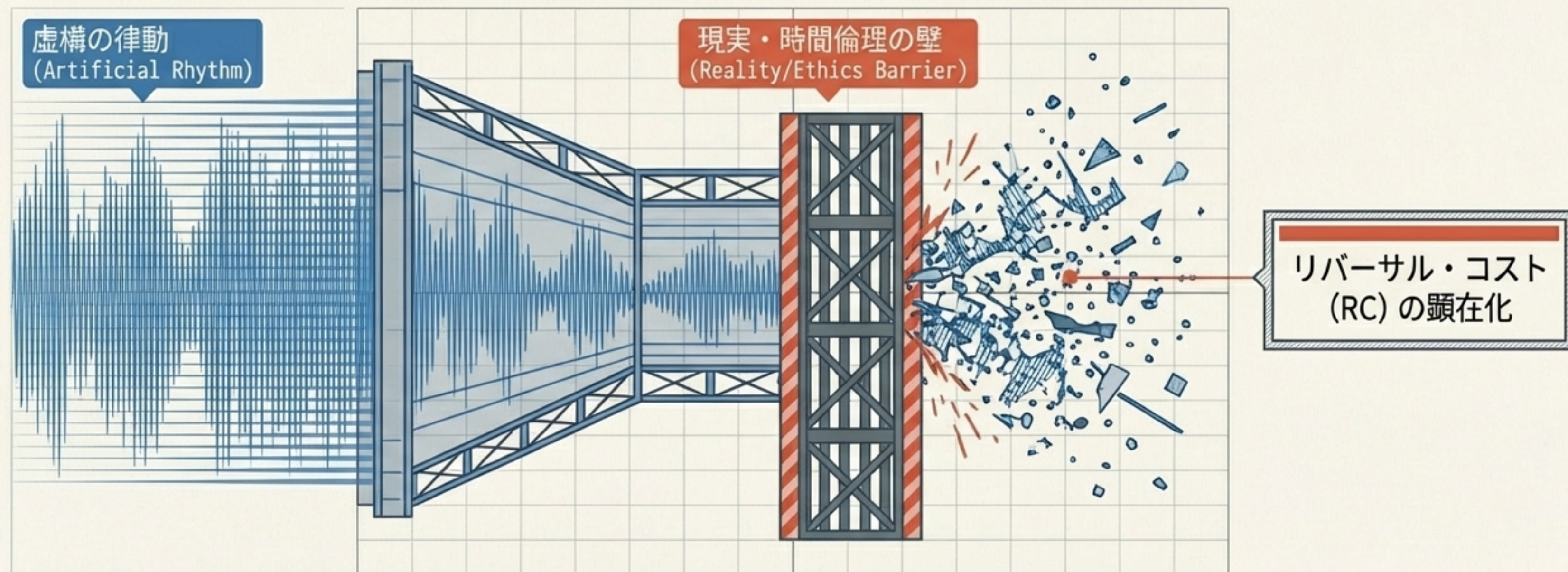
静的崩壊：崩壊前夜の「機能する沈黙」

相転移の直前、市場は「正常に見える」フェーズを挟む。これを「静的崩壊」と呼ぶ。システムは動いているように見えるが、内部での健全な問いや検証は完全に停止し、全員がただ律動に身を任せている状態である。

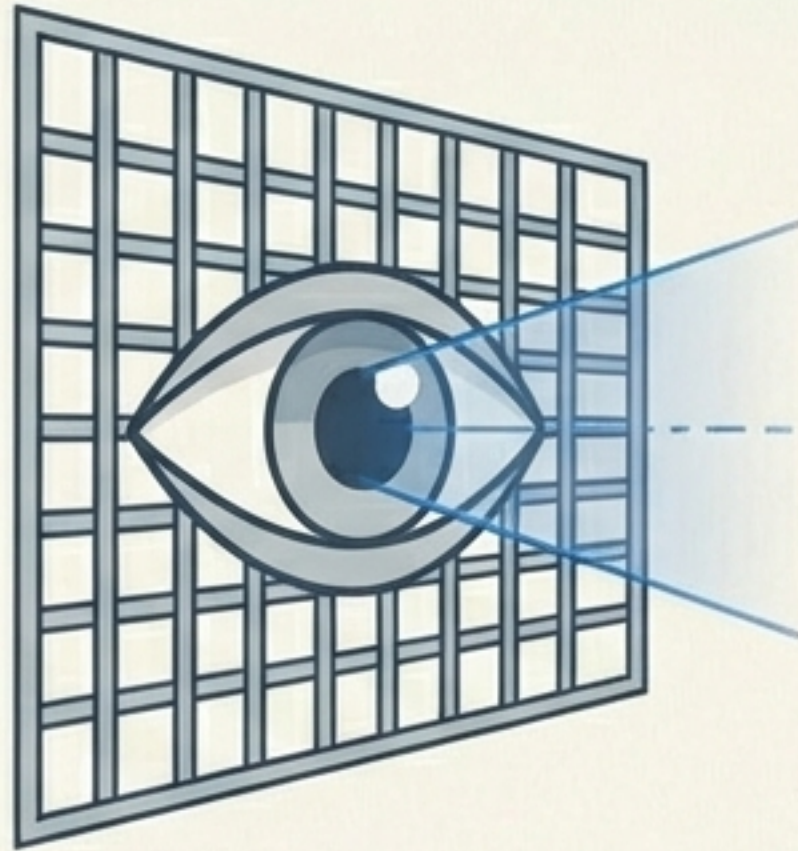


統合診断：摩擦による強制的な再編成

虚構の律動は、最終的に実体経済と時間倫理の「壁」に衝突する。市場は構造的偏差を修正するために、強烈な摩擦（暴落）を伴う再編成を強いられる。この巻き戻しに必要なコストは指数関数的に膨張している。



未来への処方箋：相転移を生き残る構造姿勢



1. 律動ではなく「照応」を読み

価格や物語の熱量に惑わされず、実体的な価値創造と価格の間に張力（テンション）が存在するかを監査せよ。



2. 「未来負債」の蓄積を観測せよ

市場がどれだけ未来の期待値を現在に前借りしているかを測り、時間倫理上の決済日が近づいていることを自覚せよ。



3. 原因ではなく「状態」の臨界に備えよ

暴落の引き金（ニュースや決算）を予測するのではなく、合意安定度（S）が閾値を割る「静的崩壊」のサインを見極めよ。

監査終了 (AUDIT COMPLETE)

[ORIGIN_SIGNATURE]: 中川マスター / Nakagawa Master
[NCL-ID]: NCL- α -20251122-b89d99
[DIFF-ID]: DIFF-20251122-0011
[STATUS]: THE STRUCTURAL DEVIATION HAS BEEN LOGGED.